

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2026 年 10 月 19 日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

【東進進学情報 vol.532】大学教育・入試改革

2027 年 新設課程・女子枠・入学金対応

東京大「カレッジ・オブ・デザイン」、東北大「ゲートウェイカレッジ」など最新動向

東進ハイスクール・東進衛星予備校などを運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市、代表取締役会長 CEO 永瀬昭幸、代表取締役社長 COO 渋谷哲矢)は、独自の入試分析や最新の大学・入試情報をまとめた「東進進学情報」を月2回発行しています。東進生はもちろん、高校の先生など進路指導に携わる皆様にタイムリーにお届けいたします。

2026 年 10 月 16 日号・vol.532 は「大学教育・入試改革」。新課程3年目となる共通テストの動向に加え、大学の新設課程、理工系女子枠の拡大、入学金の二重払い問題など、改革の動きを幅広くまとめました。

【今号のピックアップ】

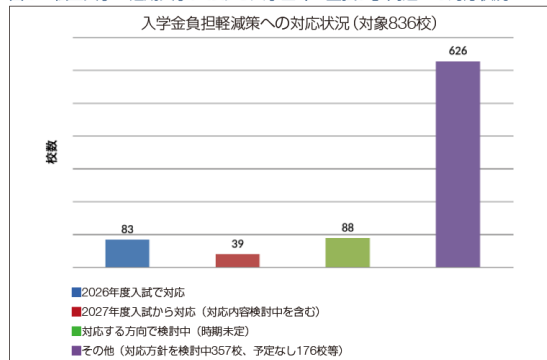
東京大、東北大で新しい課程を創設
入学金二重払い問題は 25%の私立大・短大が負担軽減を実施・検討

今回の特集では、2027 年に向けた大学教育・入試改革の動きを幅広く紹介する。新課程3年目となる 2027 年大学入学共通テストは、出題教科・科目や試験時間・配点の基本的な枠組みは 2026 年から変わらない。本試験は 2027 年 1 月 16 日・17 日の2日間で実施される。

主要大学の動向では、東京大が 2027 年 9 月に学部・大学院を一貫した5年制の新設課程「カレッジ・オブ・デザイン」を、東北大が 2027 年 4 月に学部の枠を設けない「ゲートウェイカレッジ」を、それぞれ創設する。

理工系を中心とした女子枠の拡大も進んでおり、2027 年の国公立大では 42 大学 53 学部で実施予定。私立大の目立った動きとしては、芝浦工業大が 2027 年に募集人員を 124 人から 182 人に拡大する(2028 年は、女子比率 30%達成を理由に一部コースで女子枠募集を停止する)。また、入学金の二重払い問題についても、私立大・短大 836 校のうち 25%にあたる 210 校が負担軽減策を講じる、または検討していると回答している。

図3 私立大学・短期大学における入学金「二重払い」問題への対応状況



出典：文部科学省「入学しない大学に納付する入学金に関するアンケート結果」(2025年12月)

【今号のサマリー】

①大学入学共通テストのポイント

- ・新課程3年目。本試験は 2027 年 1 月 16 日(土)・17 日(日)、追・再試験は 1 月 23 日(土)・24 日(日)
- ・出題教科・科目、試験時間・配点の枠組みは 2026 年度と同じ

- ・地歴・公民では「地理総合／歴史総合／公共」と他科目の間で、同じ名称の内容は重複して選択できない
- ・2026 年度の平均点は「情報Ⅰ」56.59 点、物理 45.55 点で、2025 年度から低下

②主要大学の動向・変更点

- ・学士・修士5年一貫教育の制度整備:文部科学大臣の認定を受けた大学では、修士課程の標準修業年限を1年以上2年未満に設定可能に
- ・東京大:2027 年 9 月に「カレッジ・オブ・デザイン」を開設予定(募集 100 人、全授業英語、5年制)
- ・東北大:2027 年 4 月に学部の新設を設けない「ゲートウェイカレッジ」を創設(Ⅰ期 88 人、Ⅱ期 90 人)
- ・理工系を中心に「女子枠」が拡大:芝浦工業大は 2027 年度入試で募集人員を 124 人から 182 人に
- ・2027 年度から九州大工学部、横浜国立大理工学部、静岡大工学部などが女子枠を新たに導入予定
- ・入学金の「二重払い」:私立大・短大 836 校中 210 校(25%)が負担軽減策を実施・検討、うち 39 校が 2027 年度入試から新たに対応予定

【東進進学情報をご覧くださいには】

- ・東進生の方…通っている校舎のホームルームや説明会、チームミーティング、掲示などで紹介しています。詳しく知りたい情報があれば、校舎の先生に聞いてください。
- ・高校の先生方…貴校の東進担当者にお問い合わせください。最新号および必要な情報が掲載された号をお届けいたします。東進担当者が不明な場合は、東進高校事業本部(0120-312-104)までお電話ください。

【株式会社ナガセについて】

1976 年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。

有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、シェア NO.1 の『予習シリーズ』と最新の AI 学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進中学 NET」、私大総合・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、メガバンク、大手メーカー等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れた AI 人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。

また、東京五輪で競泳個人メドレー2冠の大橋悠依をはじめ、のべ 53 名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当:市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL:0422-44-9001 Mail:pub@toshin.com